

# 教科名 社会

## <第1・2学年地理的分野学習到達目標>

- (1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土に対する認識を養う。
- (2) 日本や世界の地域的特色を多面的・多角的に考察し、公正に判断することができる。
- (3) 地図や統計などの資料を活用し、考察した結果をまとめたり表現したりすることができる。
- (4) 世界と日本の地域構成、都道府県規模の地域的特色を理解し、知識を身につける。

## <第1・2・3学年歴史的分野学習到達目標>

- (1) 歴史的事象に対する関心を高め、日本の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史を背景に理解させ、それを通して日本の文化と伝統の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- (2) 日本の歴史の大きな流れと、各時代の特色を多面的・多角的に考察して、公正に判断する。
- (3) 年表や歴史に関する資料を活用し、考察した結果をまとめたり表現したりすることができる。
- (4) 日本の歴史の大きな流れ、各時代の特色についての知識を身につける。

## <第3学年公民的分野学習到達目標>

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。
- (2) 現代の社会的事象から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、公正に判断することができる。
- (3) 統計や新聞など社会的事象に関する資料を収集し、情報を選択活用し、考察した結果をまとめたり表現したりすることができる。
- (4) 現代の社会生活、政治や経済の基本的な考え方を理解し、その知識を身につける。

## <社会科評価について>

### 1. 観点別学習状況の評価を基本とする。

- (1) 知識・技能 (2) 思考・判断・表現 (3) 主体的に学習に取り組む態度  
の3つの観点を A 十分満足 B おおむね満足 C 努力を要する の3段階で評定する。

### 2. 主な評価方法

- (1) テスト (定期テスト 単元テストなど)
- (2) 作品 (レポート 新聞 年表 ワークシート ノートなど)
- (3) 観察 (授業 発言 態度など)
- (4) 自己評価、相互評価など

### 3. 評定

評定に関しては、観点別学習状況の評価をもとに、目標に照らしてその実現状況を総括的に評価し、5段階で表す。

5	特に優れている	例	A	A	A						
4	十分満足できる	例	A	A	B						
3	おおむね満足できる	例	A	B	B	B	B	B	B	B	C
2	努力を要する	例	B	C	C	(C	C	C)			
1	一層努力を要する	例	C	C	C						

[第1学年]

月	学習のねらい	単元名・教材名	学習活動・学習内容	チェック欄
4 5 6	○世界のさまざまな地域 地球儀や世界地図を活用し、世界の地域構成を大観し、その中で生きる人々の生活について理解する。	<b>地理</b> 第1編 第1・2章 「地球のすがた」 第2編 第1章 「世界各地の人々の生活と環境」	地球の構成の理解。地球儀と地図。緯度経度。州・国・地域を知る。略地図の作成。国の位置と名称。気候に合わせた人々の暮らし。生活と宗教。伝統と変化。	
7 9 10	○歴史のとらえ方 作業的な活動を通して、時代の移り変わりに気付かせるとともに、歴史を学ぶ意欲を高める。 ○古代までの日本 文明のおこりと日本の成り立ち、古代国家の歩みと東アジア世界について理解する。	<b>歴史</b> 第1章 歴史のとらえ方  <b>歴史</b> 第2章 古代までの日本	生徒の関心あるテーマの設定。意欲的に発表する。  人類の進化。古代文明。三大宗教。中国文明。縄文、弥生時代。古墳文化を大陸とのつながり。さきたま古墳。聖徳太子と大化の改新。古代国家の仕組み。奈良時代の農民の生活。遣唐使。天平文化。平安京と摂関政治。国風文化。古代までのまとめ。	
11 12 1	○世界のさまざまな地域 様々な視点から世界の地域を考察する。	<b>地理</b> 第2編 第2章 「世界の諸地域」	人口と民族から見るアジア。国家間の結びつきから見るヨーロッパ。貿易から見るアフリカ。産業から見る北アメリカ。環境問題から見る南アメリカ。多文化社会化するオセアニア。	
2 3	○中世の日本 武士の台頭と鎌倉幕府、東アジア世界とのかかわりと社会の変動について理解する。	<b>歴史</b> 第3章 中世の日本	武士の成長と清盛の政治。鎌倉幕府の特色。鎌倉時代の武士の生活。鎌倉文化、仏教。元寇と幕府の滅亡。建武の新政から南北朝の動乱。室町幕府の仕組み。土一揆、応仁の乱、戦国大名。室町文化。中世のまとめ。	

[第2学年]

月	学習のねらい	単元名・教材名	学習活動・学習内容	チェック欄
4 5 6	○近世の日本 世界の流れの中で、日本の近世を理解する。  江戸幕府の成立と鎖国のねらい、産業の発達と幕府政治の動きを理解する。	<b>歴史</b> 第4章 近世の日本	鉄砲とキリスト教。新航路の目的、宗教改革。信長と秀吉統一事業。兵農分離と朝鮮侵略。桃山文化。 江戸幕府の成立と支配のしくみ、さまざまな身分とくらし、貿易の振興から鎖国へ、鎖国下の対外関係、農業や諸産業の発達、都市の繁栄と元禄文化、享保の改革、田沼と松平の政治 化政文化、大塩の乱天保の改革、近世のまとめ	
7 8	○日本のさまざまな地域 世界から見た日本のすがたを様々な視点から考察する。	<b>地理</b> 第3編 1章 「地域調査」 第2章 「日本の地域的特	世界から見た日本の自然環境 世界から見た日本の人口 世界から見た日本の資源・エネルギーと産業 世界と日本の結びつき	

9		色と地域区分」	
10 11 12	○日本の様々な諸地域 世界的視野から見た日本の地域 的特色と日本全体の視野から見た 国内の諸地域の特色を追究し、地 域の規模に応じて、また、地域間を 比較し関連付けて、地域的特色を 明らかにする視点や方法を身に付 ける。	地理 第3編 第3章 「日本の諸地域」	自然とともに生きる九州地方の暮ら し、交通・通信とともに変化する中国・ 四国地方の暮らし、都市・農村の変 化と近畿地方の暮らし、活発な産業 を支える中部地方の暮らし、さま ざまな地域と結びつく関東地方の 暮らし、伝統的な生活・文化を受け つぐ東北地方の暮らし、雄大な自 然とともに生きる北海道の暮らし
1	○身近な地域の調査 身近な地域を見直し、そのため にいろいろな調査をし、内容を深 め、まとめ、発表する	第4章 「身近な地域の調 査」	身近な地域の見直し。調査計画を立て る。野外観察や聞き取り調査を深め発 表する。
2 3	○開国と近代日本の歩み 欧米の進出の日本への影響を考察 するとともに、日本の進出につい て理解する。	第5章1節2節3 節 「開国と近代日本 の歩み」	欧米諸国の近代化、産業革命、イギリ スのアジア侵略、ペリー来航、幕府滅 亡、新政府の方針、諸改革、富国強兵、 政府の近代化政策、新政府の外交政 策、自由民権運動、憲法の特徴、新政 府の方針、諸改革、富国強兵、政府の 近代化政策、新政府の外交政策、自由 民権運動、憲法の特徴。

[第3学年]

月	学習のねらい	単元名・教材名	学習活動・学習内容	チェック欄
4 5 6	○明治維新 ○日清・日露戦争と近代産業 ○二度の世界大戦と日本 当時の日本の課題と戦争への道 のりを理解し、戦争を防ぐ方法を 考察する。	第5章4節  第6章二度の世界 大戦と日本	日清戦争・日露戦争、第一次世界大戦。 ロシア革命。ベルサイユ条約と国際連 盟。アジアの民族運動。大正デモクラ シー。労働運動と全国水平社。大正期 の文化。世界恐慌。ファシズム。満州 事変。日本の中国侵略。第二次世界大 戦。太平洋戦争。戦争下での国民生活。 戦争の終結。	
7 8	○現代日本と世界 【ここまで歴史的分野】	第7章現代の日本 と世界	占領下の日本。民主化と日本国憲法。 冷戦と植民地の解放。55年体制。緊 張緩和。高度経済成長。冷戦後の世界。 冷戦後の日本。日本社会の課題。歴史 学習のまとめ。	
9	○私たちと現代社会 現代社会を様々な視点から捉 え、効率と公正など現代社会を捉 える上で必要な考え方を身につけ る。	第1章わたしたち の生活と現代社会	グローバル化。情報化。少子高齢化。 現代社会と文化。伝統文化と暮らし。 日本文化の多様性。文化の継承と創 造。社会集団。効率と公正。きまりの 目的と方法。きまりの評価と見直し。 現代社会の課題と解決。	
	○人間の尊重と日本国憲法 人間の尊重についての考え 方を、基本的人権を中心に深める。 我が国の政治が日本国憲法に基 づいて行われていることの意義に	第2章人間の尊重 と日本国憲法	ちがいのちがひ。人権思想の歴史。憲 法の三原則。平和主義。基本的人権。 差別の事象。自由権の保障。社会権の 保障。人権保障のための努力。新しい 人権。国際的な人権保障。	

	について考える。			
10 11	○現代の民主政治と社会 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割、法に基づく公正な裁判の保障があること、地方自治の基本的な考え方について理解する。	第3章現代の民主政治と社会	民主主義の意義。選挙制度のあらまし。選挙以外の政治参加方法。政党の活動。国会の地位。国会の仕事。議院内閣制。行政改革等の問題。裁判所の役割。裁判の種類。三権分立の仕組み。地方自治の意味と役割。地方分権の動き。特色ある街づくり。現代政治の課題。わたしたちの政治参加。	
12 1	○わたしたちの暮らしと経済 ・消費生活を中心に経済活動の意義、・価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解する。 ・現代の生産の仕組みのあらましや金融の働きについて理解する。 ・貨幣の役割を理解する。 ・政府の経済上の役割を理解する。	第4章わたしたちの暮らしと経済	経済の仕組み。家計を通して消費と貯蓄を考える。消費者保護。流通の仕事。株式会社の仕組み。商品の価格の決まり方。独占価格や公共料金。金融機関の役割。労働組合。市場経済の仕組み。貨幣と金融。政府の経済活動と租税。社会保障。少子高齢化の中の財政。公害の原因、対策。日本経済の課題。	
2	○地球社会と私たち 世界平和の実現のためには、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力が大切であることを認識する。地球環境、資源・エネルギー問題などについて考える。	第5章地球社会とわたしたち	世界の課題。国家の条件と国際社会。国際連合。地域主義。地域紛争とテロ。平和維持活動。文化の多様性。環境問題。貧困と格差。世界の中の日本国憲法。地球的課題の解決。	
	○よりよい社会をめざして	終章よりよい社会をめざして	課題設定。探究方法の考察。探究・調査。レポート作成。今後への考察。	

## ★単元テスト（単元まとめ）について★

### ①方法

社会科では、知識・技能を見取るためのペーパーテストに加えて、思考・判断・表現を見取るためのものとしてレポート形式での課題も実施していく。

### ②年間予定

1年生：1か月半に1回程度の頻度で行う。地理的分野でも歴史的分野も知識・技能を見取る単元テストを中心に8回程度実施。加えて、思考・判断・表現を見取る振り返りカードも単元まとめと位置付けて実施していく。

2年生：1か月に1回程度の頻度で行う。歴史的分野：知識・技能を見る単元テストを中心に5回実施  
地理的分野：思考・判断を見る単元レポートを6回実施予定

3年生：歴史的分野でも公民的分野でも各単元の終わりにレポート形式での単元まとめを各単元毎に実施する。

※各分野において特性が異なるため、各分野や単元を貫く課題に応じてペーパーテストとレポートを併用して評価にあたる。